

経済学史 (2019年度前期)

第3講その2: アダム・スミスと『国富論』

担当者: 佐々木 啓明*

*E-mail: sasaki@econ.kyoto-u.ac.jp; URL: <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~sasaki/>

- 見えざる手

個々の主体の意識や目的とは別個に作動する, 社会的メカニズムのこと.
個々の行動の直接の結果と, 多くの人と同様の行動をしたときに生じる結果とを明確に区別した.

——自然価格の体系——

●長期均衡価格

賃金, 地代, 利潤には, 社会の一般的事項によって規定される通常率・平均率があり, これを「自然率」と呼ぶ.

自然率水準の賃金, 地代, 利潤によって構成される商品価格を「自然価格」と呼ぶ.

→ 市場価格は自然価格に引きつけられる.

需要が供給を上回る → 市場価格が自然価格を上回る → 価格の構成部分がそれぞれ自然率を上回る → 労働, 土地, 資本の使用量が増加 → 供給が増える → 市場価格が自然価格に, 価格の構成部分がそれぞれ自然率にまで下がる

スミスの自然価格は、供給者が需要を、需要者が供給を正しく予想し、その結果、計画された供給が計画された需要に一致しているような、長期均衡価格。

●成長と賃金率, 利潤率

成長しない静態経済では、自然賃金は「生存費水準」(生存水準)に等しいが、成長する経済では、自然賃金はそれより高い。

成長経済における長期均衡では、生産物と労働人口が均斉成長する。成長経済では、自然賃金は生存費賃金より高く、労働市場で決定される。

一般的に、資本蓄積の増大は利潤率を低下させ、したがって、高成長、低利潤率となる。

高成長の原因: (1)労働生産性が高いので成長率が高い場合、賃金だけでなく利潤率も高い。(2)貯蓄率または資本蓄積率が高くて成長率が高い場合、賃金は高いが利潤率は低い。